

都立文化施設が進めるDX「TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト」

都立文化施設がICT活用教育に向けて2つのアプリをリリース

東京都江戸東京博物館「ハイパー江戸博」(Android版)

東京都写真美術館「マジカループ」

約1.9万ダウンロードを突破！ゲームエンジン搭載の体験型アプリ「ハイパー江戸博」Android版がリリース。東京都写真美術館からは、アニメーションを楽しむ・学ぶデジタル教材「マジカループ」がリリース。



江戸東京博物館スマートフォンアプリ「ハイパー江戸博」



東京都写真美術館 回転アニメーションウェブアプリ「マジカループ」

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団では、都立文化施設が有する収蔵品や、各施設の展覧会・公演等の活動等の文化資源をデジタル化し、記録・保存するとともに、多様な形態での鑑賞体験を提供するプロジェクト「TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト」を実施しています。このたび、本プロジェクトの一環として、江戸東京博物館のスマートフォンアプリ「ハイパー江戸博（Android版）」と東京都写真美術館のウェブアプリ「マジカループ」をリリースしました。

「ハイパー江戸博」は、2022年4月よりiOS版を先行リリースし、現在までに約1.9万ダウンロードされています。博物館が提供するゲームエンジンを本格利用した国内初の体験型アプリとして注目を集めています。また、今回新たに、東京都写真美術館よりリリースされた「マジカループ」は、同館で18年に渡って行われてきたワークショップを、デジタル教材へと展開したものです。写真と映像に関する総合的な美術館とアニメーション作家、学校教員などが協働し、アニメーションを楽しむ・学ぶための新しいデジタル教材を開発しました。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくごお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部企画課 担当：三木・廣田

TEL：03-6261-5420 Email：programs-inquiry@rekibun.or.jp

※各アプリについてのお問い合わせは、2ページ以降、各館担当者までお願いいたします。

東京都江戸東京博物館

博物館が挑戦する、収蔵品の新たなデジタル活用 オリジナルアプリ「ハイパー江戸博」

国内初となる博物館とゲーム制作会社が共同開発した、
ゲームエンジン搭載の体験型アプリで「江戸をさがす・みつける・あつめる」。
にぎわう江戸の町を散策して、いまにつながる知恵を見つけよう！



江戸東京博物館スマートフォンアプリ「ハイパー江戸博」



江戸東京博物館とゲーム会社が共同で開発し、
2022年4月にiOS版をリリースしました。6月30日
よりAndroid版のリリースも開始しました。

本アプリはゲームエンジンを本格利用した国内初の博物館における体験型アプリです。常設展示室の模型を3Dデータで再現した江戸のバーチャル空間で、ユーザーは、100点の収蔵品を集める旅に出かけます。ゲームエンジンを利用し、3DCGを多用した本アプリは、今後メタバースやVRへの展開も期待できます。当館は、大規模改修工事のため、2022年4月から2025年度中（予定）まで、全館休館していますが、長期休館中も、こうしたオンラインでの取り組みをバーチャル・ミュージアムとして展開し、江戸東京の暮らしや文化、歴史を学べるコンテンツを提供していきます。

リリース情報



江戸東京博物館バーチャル・ミュージアム
スマートフォンアプリ「ハイパー江戸博」

特設サイト

<https://hyper.edohaku.jp/>

プラットフォーム：iOS / Android

配信開始日：2022年4月22日（iOS）、2022年6月30日（Android）

料金：無料 特設サイト：<https://hyper.edohaku.jp/>

コピーライト：©The Edo-Tokyo Museum, Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture All rights reserved.

企画：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
共同開発：東京都江戸東京博物館、株式会社ライノスタジオ

6月30日公開



4月22日公開



【本アプリについてのお問い合わせ】

東京都江戸東京博物館 事業企画課展示事業係 担当：春木、熊谷

〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1

電話：03-3626-9974（代表）※電話でのお問い合わせ受付は平日9:00～17:00

Email：hello@edohaku.jp

東京都写真美術館

図工・美術×アニメーション

回転アニメーション制作アプリ「マジカループ」

写真・映像の美術館が作ったアニメーション制作アプリ。
アイデア次第、自由自在に、楽しむ・学ぶ。
回転アニメーションの世界を子供たちとすべての世代へ。



本アプリの学校教育現場での試行の様子

回転アニメーションウェブアプリ「マジカループ」は、「図工・美術×アニメーション」をテーマに、アニメーションを楽しむ、学ぶための新しいデジタル教材です。「マジカループ」では、19世紀に発明された回転式の映像装置「おどろき盤（フェナキスティスコープ／ヘリオシネグラフ）」の不思議な世界をタブレットやPC、スマートフォンで体験することができます。

東京都写真美術館では、19世紀の「おどろき盤」を始めとする初期の映像装置をコレクションしています。18年に渡り小学生、中学・高校生を対象とするスクールプログラムを手がけてきた同館ならではのデジタル教材です。

制作統括：東京都写真美術館 教育普及プログラム
監修：井上仁行（パンタグラフ）
制作：飯塚修平、江口拓人（artrecorder）、
村上寛光（株式会社フリッカ）、石田哲朗（東京都写真美術館）、武内厚子（東京都写真美術館）

小学校、中学校、高等学校などの授業や部活動で。美術館や様々な場所で。子供たちや青少年、さらにより幅広い世代の人々がよりクリエイティブなアニメーション体験を得ることができます。

リリース情報



東京都写真美術館

回転アニメーションウェブアプリケーション「マジカループ」

特設サイト「図工・美術×アニメーション」

<https://magicaloop.topmuseum.jp/>

プラットフォーム：ウェブ

※各種デバイス（PC、タブレット、スマートフォン）、主要OS／ブラウザに対応。

料金：無料

コピーライト：©Tokyo Photographic Art Museum, Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture All rights reserved.

企画：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館



【本アプリについてのお問い合わせ】

東京都写真美術館 事業企画課 普及係 担当：武内、石田
東京都写真美術館 管理課 企画広報係 担当：池田、平澤、鈴木
〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
電話：03-3280-0076
Email：press-info@topmuseum.jp